

トイレの森



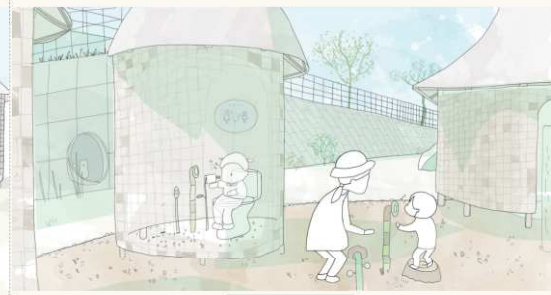
06 4つのエリア



まねっこトイレ



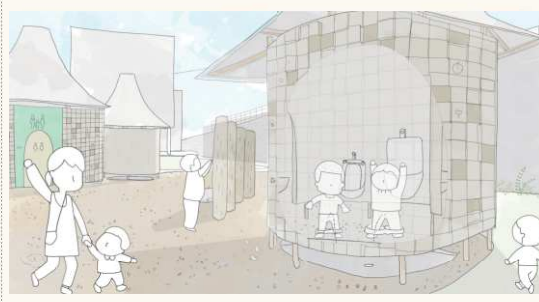
親と子どもが向かい合って一緒にトイレをするエリア。怖い印象を持っている子は一緒に入れることで、安心してトイレができることや、子どもは親の姿をまねてトイレの仕方を学ぶことができる。普段トイレというものは他人から見られないため、親も少し恥ずかしい、新鮮で楽しいエリア



もしもしトイレ



伝声管で外の友達や親とお話できるエリア。公園の遊具にもある伝声管を使い、トイレと遊びを一体化した。子どもの好奇心を湧かせ、ここでは一人で初めてチャレンジするきっかけにもなる場所。



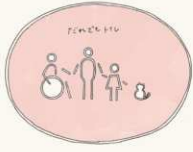
おしっこトイレ



男の子が遊びの一部のように排泄という行為が楽しめるエリア。なるべく縛りがない自由な状態で排泄できるように流し場のような広いスペースとなっており、友達や親と入りトイレというものを楽しくする場所。



みんなのトイレ



さまざまな状況に対応できる広いスペースのあるエリア。車いすの子供がいても不自由なく通れる段差のないスペース。さらに床からキノコのテーブルが生えており、どんごんこになった子などが着替えられるちょっとしたスペースもある。

01 現状

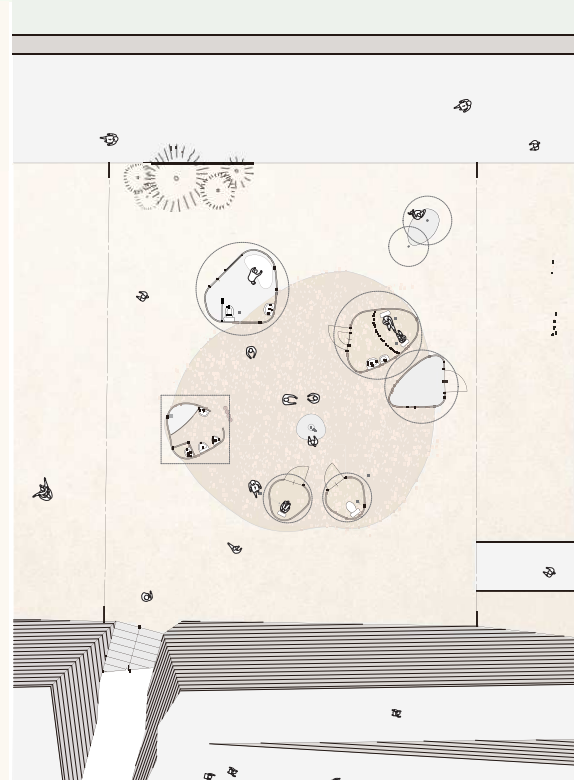
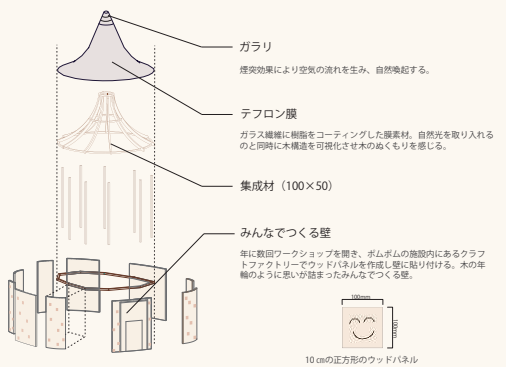
子どもにとってトイレは遊びの場として捉え、また特に小さい子にとっては「ご飯を食べること」「着替えをすること」と連って、「排泄すること」は普段の生活で目にするものが少なく、怖く感じることもある。そこで、単に用を足すだけのトイレではなく、ここのトイレだったら楽しくトイレできる、トイレに行くこと自体に好奇心や探求心が湧く、そしてこどもの姿を見た大人にとっても新たな発見や会話の生まれる、そんなトイレを実現する必要があるのではないかと。

02 計画

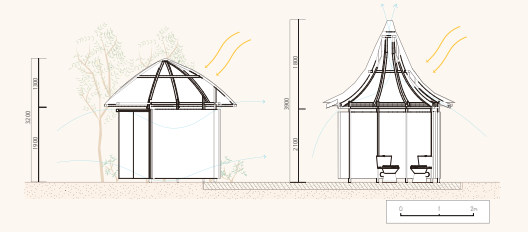
トイレエリアを1つの遊びの場として捉え、子ども達がまるで遊具で遊ぶような感覚でトイレに行くことのできるトイレを提案する。排泄することが楽しくワクワクにつながるよう「まねっこトイレ」「もしもしトイレ」「おしっこトイレ」「みんなのトイレ」の4つのエリアをつくり、こどもの成長段階に合わせた遊び、学べるトイレを計画した。また、巨大な木をイメージした遊具や、まわりの木々のようにトイレも木をモチーフに計画し、小さなボリュームに分散し、ゆるやかな円を描くような配置することで、森の遊び場のようなトイレエリアを計画した。こどものワクワクはもちろん、大人にとっても新しく、発見があり、ここならではの体験となる。



03 構造

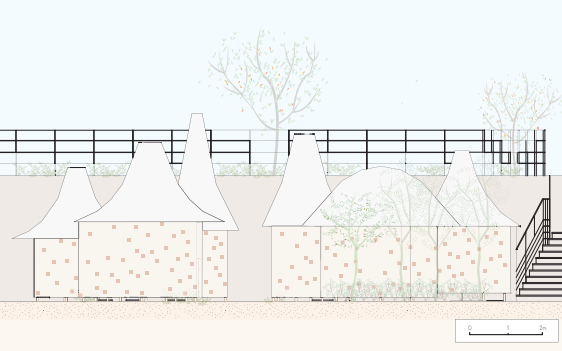


07 断面図



建物をつくるように地面にウッドチップを計画。ウッドチップはトイレの嫌な匂いを消す消臭の役割を持ち、代わりに木の香りを感知させ、清潔感のある空間へと変える。また、子どもたちは柔らかい踏み心地の地面を走り回り、この場所を遊びの空間へと変える。定期的に補充するだけで管理できるのでライフサイクルコストへの対応も可能となる。

08 立面図



真っ白なフレームの下で自分の好きな場所を探し、アーチのドアから自分の好きなトイレを探す、広場とつながる今までにないトイレ。



1. トイレと広場を一体化して敷地全体を使う



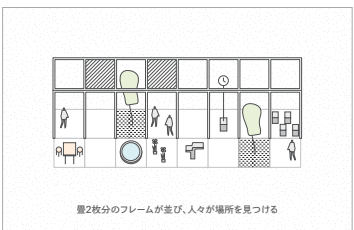
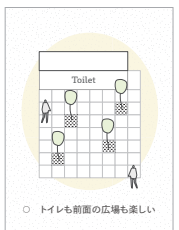
2. 畳と同じサイズのフレームから場所を探す



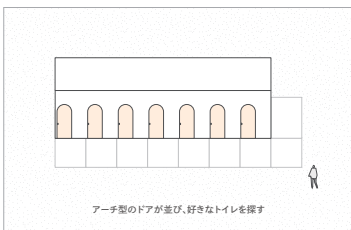
3. アーチ型のドアから自分のトイレを探す



4. これからの時代のビクトグラムを考える



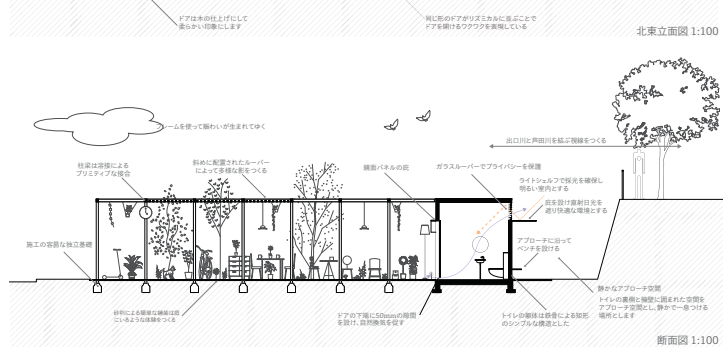
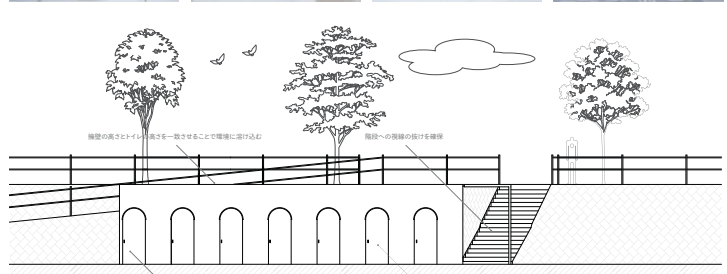
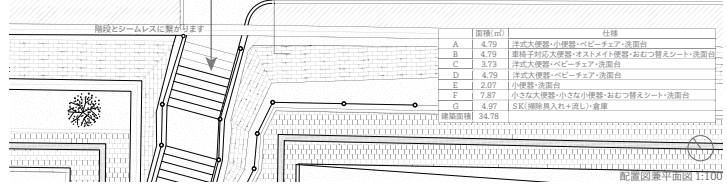
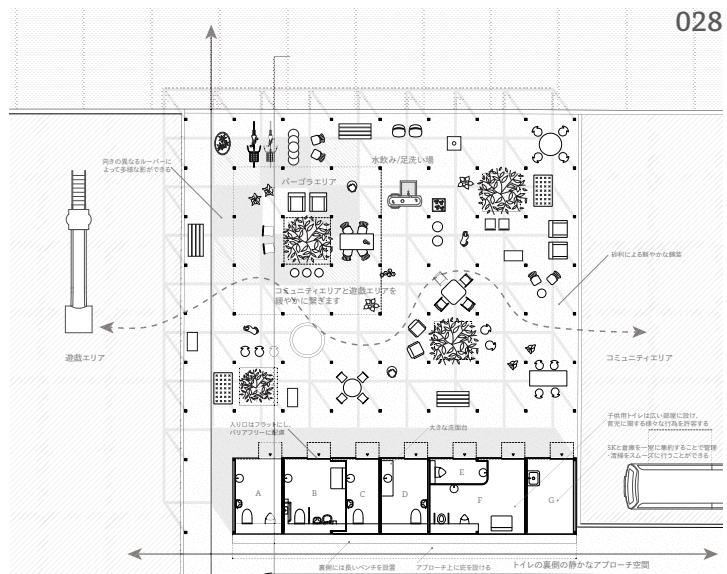
象徴的なトイレを単体でつくるのではなく、目の前の広場と一体化したトイレを目指します。そのために敷地いっぱいをフレームで覆います。その後、フレームの中にトイレやパーゴラ、庭や水飲み場などを丁寧に配置してゆきます。トイレだけが美しく魅力的なのではなく、前面の広場も一体的に美しくなるトイレの提案をします。



トイレの立面はアーチ型のドアが並ぶシンプルなデザインにし、コストを抑えます。立面の単純さとは裏腹に、それぞれのトイレの内部には異なる機能や空間が与えられます。トイレを使うひとは、宝箱のフタを開けるように、自分自身がその時に使いたいトイレを選ぶことができます。自分好みのトイレを自分自身で探して選ぶという楽しさを提案します。



ドアの表面には「性別/年齢/多目的トイレ」などの通常のビクトグラムではなく、内部にある道具の種類を描いた新しいビクトグラムを用意します。子供や大人や障害のある方、男性や女性、そうした多様性をそのままに、自分自身がその時に使いたいトイレを選ぶことができます。自分好みのトイレを自分自身で探して選ぶという楽しさを提案します。これからの時代の要請に答え、トイレ自体も新しい形式で答えます。



あそびと遊びのあるトイレ



きてんとなる府中ウォール

①遊びのきてん

遊びや散歩の連続として通り抜かれるミチをつくります。府中ウォールを起点としてあそびの場が展開します。

②トイレのきてん

2つのゾーンの間に道を作ることで、トイレに行くきっかけづくりとなります。多様な動線を設けることで、誰でもアクセスしやすいトイレとします。

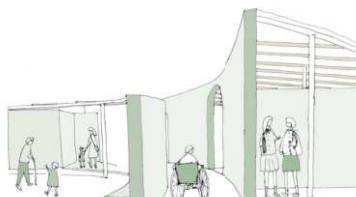
③構造・機能のきてん

中央のコンクリート壁が建物全体の構造を担うことで丈夫な建物とし、維持管理を容易にします。電飾やテントなどを張るためにフックを取り付けるといった今後必要な機能の増設が可能です。

誰のものでもないトイレ

- ①全てのモノや人に対し寛容な空間を提案します。
- ②男女トイレ全室内部にパウダールームを設けることで性への多様性を尊重した空間とします。
- ③トイレの機能にとどまらず、周辺の豊かな環境を巻き込みながら新たな風景を作っていきます。
- ④行き止まりのない構成にすることで風が抜け、人が行き交う安全で清潔なトイレとします。

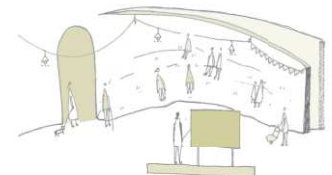
面積表		
	床面積	
敷地面積 (㎡)	2,600	
建築面積 (㎡)	46.7	
建蔽率 (%)	1.8	
	男性用トイレ (㎡)	4.32
	女性用トイレ (SK含む) (㎡)	5.68
	子ども用トイレ (㎡)	4.5
	多目的トイレ (㎡)	4.58
	倉庫 (㎡)	5.2
	着替えスペース (㎡)	2.25
	合計 (㎡)	26.35



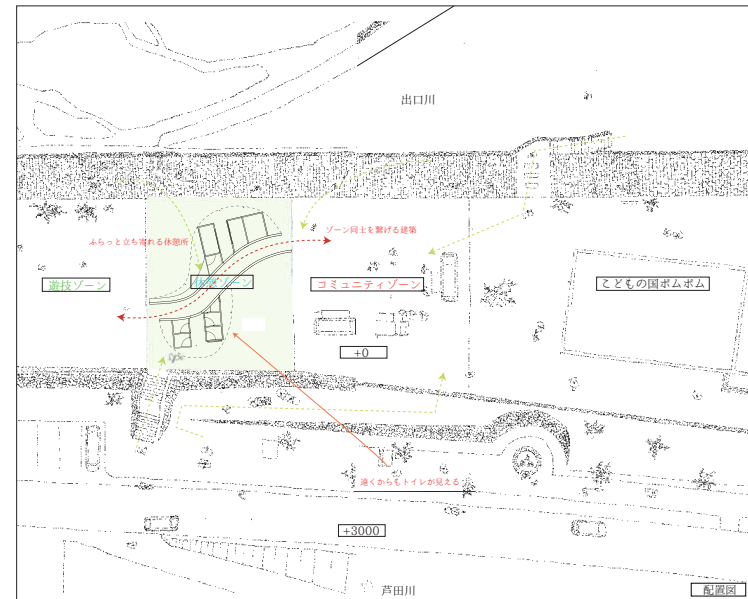
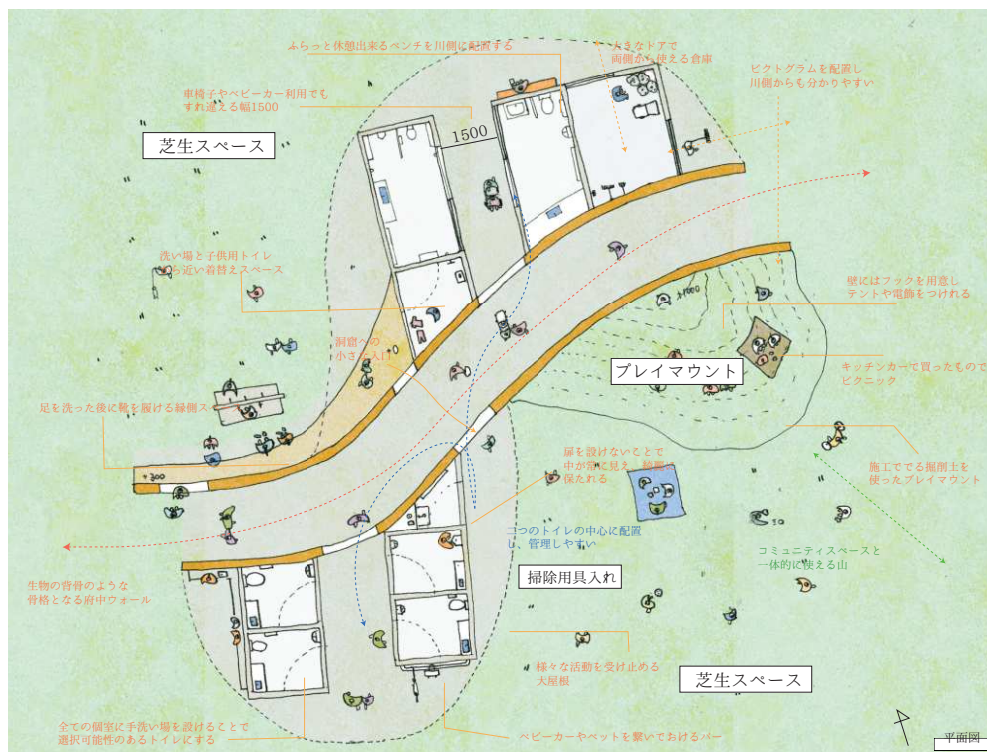
小さい子供から高齢者、障害を抱える全ての人々が共にいられる空間。排泄する空間のみにとどまらず、遊びや憩いの場になる。



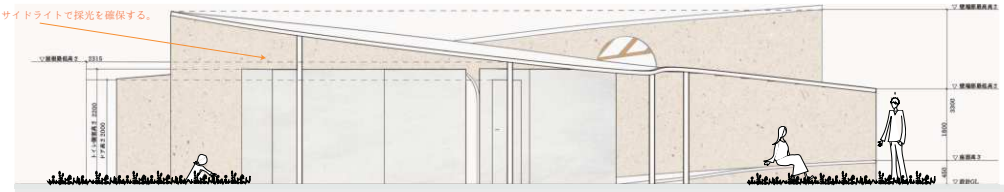
トイレに行くのが楽しくなるような遊館のようなミチ



ハレの日には府中ウォールを中心に様々な活動が展開します



配置図



立面図

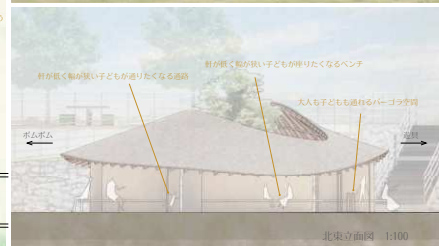
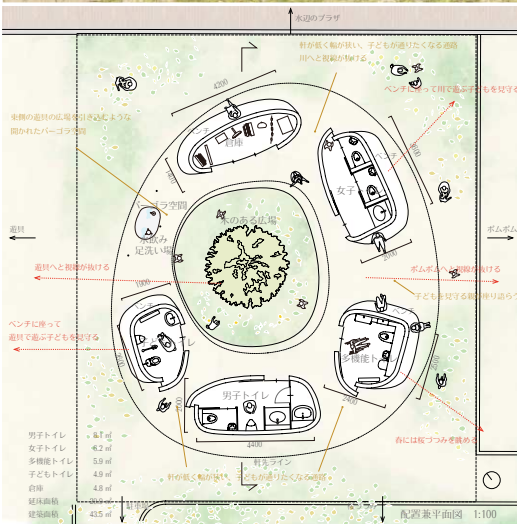


断面パース

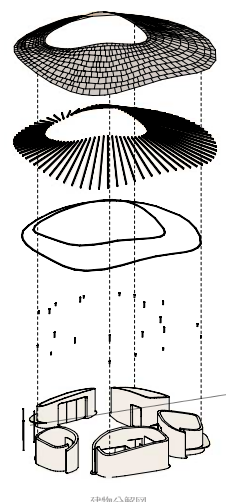
ハイサイドライトで採光を確保する。

ふわり くぐり

やわらかなたてもに誘われて、くぐり抜けると広がるもうひとつのあそびば。
ポムポムと遊具をつなぐ新たな場として、子どもも大人もおおらかに迎え入れます。



6. 建物の全体分解図



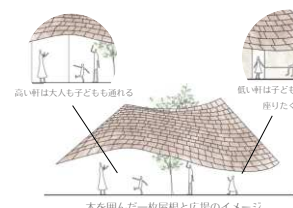
- ・屋根：杉板葺き 天井：構造用合板
杉板葺きの曲面の屋根は、どこからでも違う形に見える、公園のアイコンになります。
- ・垂木：広島県産スギ
県産材を用いて木のぬくもりを感じられる屋根下空間を演出します。
- ・桁：T型鋼
加工しやすいT型鋼により、自由曲面に沿って重木材を受け、軽快な見た目を実現します。
- ・束：丸鋼
壁と桁の間にわずかなスペースをつくり、屋根の軽快感と通風を確保します。
- ・ポスト柱：丸鋼
自然素材のぬくもりと自由な形状に包み込まれます。汚れが目立ちにくく、消臭効果も期待できます。

1. 好奇心に導かれるトイレ

遊具とポムポムの間にある新たなまりの場と考え、細い通路の先の空間の広がりや柔らかく漏れる光に導かれるように、大人も子どもも自然に引き込むトイレをつくります。

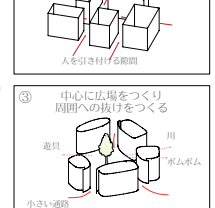
2. 木を囲んだ大きなまの一枚屋根

円形の一枚屋根が利用者を包み込み、木を囲んだ安心感のある広場空間をつくります。起伏のある屋根はどのからでも違う形に見える、こどもの公園のアイコンになります。

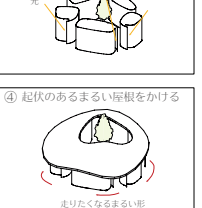


3. 木を囲んだまの配置

分散配置してボリュームに階層をつくる
① 分散配置してボリュームに階層をつくる
人を引き付ける期間



② 角をとりスリットを入れ引き込む空間をつくる
角をとりスリットを入れ引き込む空間をつくる



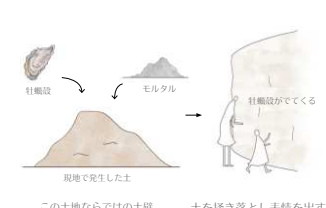
4. 生えたような建物

きのこのように、土地から隆起した建築に自然素材を用いることで、子どもたちは建物を通して自然に触れることができます。



5. みんなの手で形造るトイレ

現地で発生した土を用いて、ワークショップとして壁の仕上げをみんなで行います。壁の表情はそれぞれの手によって偶然的に生まれ、ここにしかないトイレができます。



先の空間に導かれるイメージ

木を囲んだ一枚屋根と広場のイメージ

小さい通路

走りたくなるまの形

土地から生えたような自然素材の建物

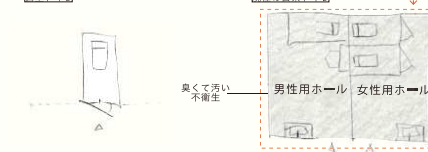
この土地ならではの土壁

土を掻き落とし表情を出す

建物分解図

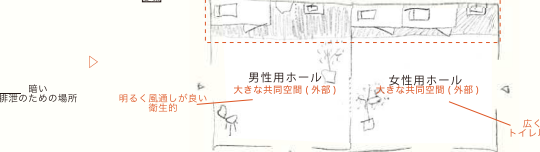
トイレが集まる、トイレに集まる

トイレが集まる - 公衆トイレのホールをひらく



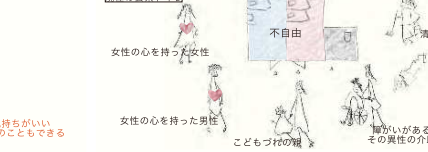
公衆トイレは公共建築であり、その起源は古代ローマまで遡る。ここでは、**トイレのホールを公衆トイレならではの公共空間と捉え直す**

トイレに集まる - インクルーシブなトイレ空間



性別や障がいによる区別がはっきりとした現在の公衆トイレ。年齢やジェンダー、障がいに問わず誰もが共にいられる**トイレ空間**を大きくて明るいトイレ空間

公衆トイレ以上の公共空間



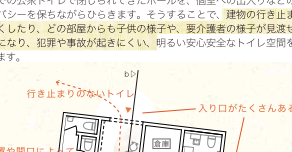
性別や障がいによる区別がはっきりとした現在の公衆トイレ。年齢やジェンダー、障がいに問わず誰もが共にいられる**トイレ空間**

ホールをひらくと、



ホールをひらくと、明るく衛生的な公衆トイレへ

ホールをひらくと、安心安全な公衆トイレへ



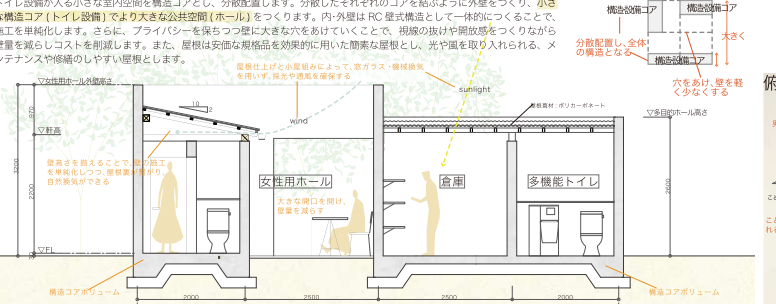
ホールをひらくと、安心安全な公衆トイレへ



周囲の環境に向かって建築を建てる



小さくかつ、大きくつくる



配置図 1/500

断面図 1/500

断面図 1/500

断面図 1/500